

経ヶ岬通信所だより

No. 6



陸上自衛隊福知山駐屯地での文化交流



近畿中部防衛局広報誌

2020

👉地域住民の方々の安全・安心の確保に取り組んでいます

○安全・安心対策連絡会で通信所における2期工事の進捗状況等を説明

近畿中部防衛局は昨年11月26日（火）、第22回目となる米陸軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会を開催し、通信所で行われている隊舎など生活関連施設の建設工事（いわゆる2期工事）の進捗状況、交通安全講習会など交通安全への取組、ビーチボールバレー大会の開催など日米交流の状況等について、京都府や京丹後市、地域住民代表の方々にご説明しました。

また、前回の連絡会で、構成員の方から、本連絡会の在り方、進め方について一度検証してもらいたいとのご意見があったことを踏まえ、当局としては、今後の連絡会における議論の活性化を図ることができるよう、説明事項・資料構成の改善や通信所の現地見学を組み入れる等、何らかの新しい企画を取り入れるように努めたい旨をご説明しました。



第22回安全・安心連絡会の開催



近畿中部防衛局からの説明



第14ミサイル防衛中隊長からの挨拶



構成員の方々からのご意見

令和元年度 日米交流事業「日米交流ビーチボールバレー大会」

昨年10月19日（土）、京丹後市弥栄総合運動公園社会体育館において、「日米交流ビーチボールバレー大会」を開催し、16チームの方々にご出場いただきました。

当局ではこれまで、音楽交流を年1回開催してきましたが、より多くの方々と米軍関係者との交流の場を設けるべく、今年度初めてスポーツ交流を開催することといたしました。

本大会では、各チームに1名ずつ米軍関係者が入り、日米合同チームによる予選（4チームごとのリーグ戦）及び本戦（トーナメント戦）を行い、それぞれのチームが力を合わせて優勝を目指し汗を流しました。特に決勝戦及び3位決定戦は1点を争う緊迫した試合となり、最後の最後まで大接戦となりました。

また、昼食交流の際には、「スプーンでピンポン玉運びゲーム」で大いに盛り上がり、言葉の壁を乗り越えて積極的にコミュニケーションをとろうとしている姿が印象的でした。

出場者の方々からは、「言葉は通じなくても、笑顔でハイタッチできて嬉しかった」「ぜひまた参加したい」などの感想をいただき、盛況のうちに大会を終えました。



近畿中部防衛局 島前局長



京丹後市 梅田副市長



米陸軍経ヶ岬通信所 ブガド前中隊長

大会会場の様子



通信所ニュース

○米陸軍経ヶ岬通信所中隊長（第14ミサイル防衛中隊長）交代式

米陸軍経ヶ岬通信所中隊長（第14ミサイル防衛中隊長）ブガド少佐（離任）とベネディクト少佐（着任）の交代式が1月31日（金）、京都府京丹後市の航空自衛隊経ヶ岬分屯基地にて執り行われました。



交代式の様子

○新旧中隊長からの御挨拶

前中隊長 ブラッド・ブガド少佐

京丹後市民の皆さま、経ヶ岬通信所へのご支援に感謝申し上げます。

この11カ月に私が経験したことや皆さんのおかげで作ることのできた思い出の数々は、米陸軍としての20年間で最高のものであります。

私は、ここ京丹後において良き隣人となるべく兵士や請負業者、そして勿論私自身含めて、海岸清掃やドラゴンカヌーレース、伝統的な秋祭りなどの様々な行事に可能な限り参加するようになってきました。おかげさまで、地域の皆さまと経ヶ岬通信所の関係は著しく発展してまいりました。

また、航空自衛隊第35警戒隊、陸上自衛隊第7普通科連隊、そして海上自衛隊舞鶴地方隊との素晴らしいパートナーシップを構築してきました。私の後任であるベネディクト少佐はこれらの関係やパートナーシップをより発展させてくれると確信しております。私は京丹後市や地域の皆さまをとても恋しく思うでしょう。地域の一員として受け入れてくださりありがとうございました。

皆さまのご多幸をお祈りし、将来皆さまにまたお会いできることを願っております。



新中隊長 ブレイク・L・ベネディクト少佐

経ヶ岬通信所の第14ミサイル防衛中隊長からご挨拶申し上げます。

私は第14ミサイル防衛中隊長の新中隊長、ブレイク・L・ベネディクト少佐です。

私はカリフォルニア州サクラメント出身です。直近の任務は、コロラド州フォート・カーソン第4歩兵師団第1ストライカー旅団戦闘団の防空将校でした。

第6代目の中隊長としてここ日本で、第14ミサイル防衛中隊長の指揮を執ることは非常に光栄なことです。ブガド少佐と第14ミサイル防衛中隊長チームが、地域の皆さまや日本のパートナーと築いてきた関係を継続させていきたいと思っております。

そしてできるだけ早く地域社会の一員となり、関係をより良いものに発展させていきたいと思っております。



○航空自衛隊経ヶ岬分屯基地（第35警戒隊）からの紹介

航空自衛隊調理競技会 金賞及び航空幕僚長特別賞受賞について

航空自衛隊第35警戒隊（京都府・経ヶ岬）は2月4日（火）及び5日（水）に航空自衛隊入間基地において実施された航空自衛隊調理競技会において、最高位である金賞と航空幕僚長特別賞を受賞しました。

この競技会は鶏の唐揚げを、「空自空上げ（からあげ）」と呼称し、航空自衛隊としてより上を目指そうという意味を込めて、航空自衛隊の食文化を内外に普及するための各種施策を示した「空自空上げ普及5か年計画」に基づき行われたものです。

全国の「各部隊を代表」して計10名の隊員がそれぞれの基地が所在する地域の特色を活かした空自空上げを、2時間という制限時間の中で調理し、審査に臨みます。第35警戒隊は、給養係長である千原2等空曹が選手として参加し、基地が所在する京都府の食文化を参考に、出汁で素材本来の旨味を引き出し、特産品の七味でアクセントを加えたオリジナルレシピ「七味鶏」で挑み、金賞及び航空幕僚長特別賞を受賞しました。

今後は、空自空上げ「七味鶏」の更なる普及のため、基地見学者への提供や、部外への情報発信など積極的にPRし、自衛隊に対する理解の促進を図っていきます。

（「七味鶏」のレシピは航空自衛隊HP スペシャルコンテンツ「空自空上げ」で掲載されています。）



空自空上げ受賞作品「七味鶏」



調理競技会の様子



丸茂吉成航空幕僚長から表彰を受ける千原誠児2等空曹



金賞及び航空幕僚長特別賞を受賞

（写真提供：航空自衛隊経ヶ岬分屯基地）

👉 米陸軍経ヶ岬通信所からの紹介！

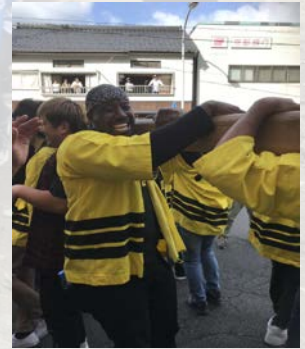


○文化交流イベント活動

島津区秋祭り

経ヶ岬通信所のメンバーは昨年10月13日（日）、光栄ながら京丹後市網野町島津区の秋祭りに参加する機会に恵まれました。島津小学校での音楽会やハロウィンイベント等、日頃から交流の深い島津区の皆さまから経ヶ岬通信所に秋祭りへのご招待いただいたものです。もちろんメンバー全員にとって日本のお祭りに参加するのは初めての機会であり、法被を着たり神輿を担いだりするのはとても興味深い経験となりました。秋祭りに参加した第14ミサイル防衛中隊長のブガド少佐（当時）は次のように話しました。「地域の皆さまが秋祭りを大切にされているのを感じました。そのような場に私たちが招待されたのは非常に光栄なことです。」神輿を担いだメヒュー少尉は、「朝から夕方まで神輿を担ぐのは大変でした。でも、地域の皆様と心が一つになったと感じました。」と笑顔で話しました。

日本の伝統と文化を経験する素晴らしい機会となりました。地域の皆様の温かい歓迎に心より感謝申し上げます。



ハロウィンイベント

米陸軍経ヶ岬通信所第14ミサイル防衛中隊と京丹後市国際交流協会は昨年10月27日（日）、京丹後市網野町の旧郷小学校にてハロウィンイベントを開催しました。150名の子供たち、保護者の皆様、経ヶ岬通信所の関係者、近畿中部防衛局、航空自衛隊第35警戒隊や地域からのボランティアスタッフを含む約350名が参加しました。参加者は、「お化け屋敷」「ゾンビブラスター」「マミーボウリング」「フェイスペイント」「トリックオアトリート」といったステーションを楽しみました。

「家族と離れ異国の地に赴任する私たちにとって、地域の皆様、とりわけ子供たちとの交流というのはかけがえのない時間です。」と話すのは第14ミサイル防衛中隊長 ブガド少佐（当時）です。「このイベントは経ヶ岬通信所の職員だけではなく、近畿中部防衛局や航空自衛隊第35警戒隊、そして地域のボランティアの方々の支援で成り立っております。みんなが協力してチームとして準備してきました。アメリカのハロウィンでは子供たちを怖がらせることが一般的なので、各自が趣向を凝らした仮装で参加しました。何人かは少し頑張りすぎたかもしれませんね。」と笑顔で語りました。

イベントを共催した京丹後市国際交流協会の麻田事務局長は次のように話しました。「京丹後市国際交流協会と米陸軍経ヶ岬通信所が共催するハロウィンイベントは今回で5回目となります。毎回イベントがグレードアップしてきてますし、アメリカ人の方のイベントに対する思い入れが強くなってきているのを感じます。京丹後市が掲げる“多文化共生”を象徴するイベントとして地域に定着しつつあるのがうれしいです。」たくさんのキャンディーを袋に入れたお子さんたちが元気よく叫ぶ「トリックオアトリート！」という声、お化け屋敷から聞こえる悲鳴、あまりに本格的なゾンビの仮装に驚いて泣き叫ぶお子さんの声など、歓声が止むことなくイベントは進みました。

ハロウィンイベント



クリスマスの英会話交流イベント

米陸軍経ヶ岬通信所は昨年12月11日（水）、京丹後市弥栄町黒部地区公民館にてクリスマスの英会話交流イベントを開催しました。地域より100名以上の皆様の参加をいただきました。

参加者は、アルファベットの練習、塗り絵、線つなぎやクリスマスに関する英会話を楽しみました。

参加者が「ジングルベル」を歌っていると、サンタクロースが登場しプレゼントを渡しました。その後、兵士、地域の皆様と子供たちは2019年に大ヒットした「パプリカ」を歌いながらダンスし、イベントを締めくくりました。

黒部地区の今井区長は、「お忙しい中多くのアメリカ人の方が参加してイベントを盛り上げてくれました。地域の皆さんも米軍人との交流を楽しむことができました。」と述べました。米陸軍第14ミサイル防衛中隊長のブガド少佐（当時）は、「黒部地区でクリスマス会を開催するのは昨年に引き続き2回目となります。今年の5月には在日米陸軍軍楽隊がこちらで演奏会を開催しました。私たちは常に、ボランティア地域の皆様と交流することを楽しんでおります。今後も可能な限りこのようなイベントを続けていきたいと思っています。」と話しました。



【経ヶ岬通信所の活動状況などはフェイスブックにも掲載していますのでご覧ください。 <https://www.facebook.com/14MDB/>】

👉引き続き地域の交通安全に取り組んでいます！

○米軍人等に対する交通安全講習会を開催しました

昨年12月12日（木）、京丹後警察署の協力を得て、通信所に勤務する米軍人等を対象に、交通安全講習会を開催しました。今回の講習会では、本格的な降雪期に入る前の交通安全対策として、特に冬季の運転において注意を要する事項に重点を置いた座学講義や、人工降雪機を使用して再現した積雪路の走行などの実車講習を行いました。

交通安全講習会の様子



人工降雪機による積雪路の再現



積雪路面におけるスリップ体験等

○米軍関係者との交通事故で被害を受けられた方へ

米軍関係者との交通事故で受けられた被害については、基本的には日本人同士で交通事故を起こした場合と同様、米側当事者やレンタカー会社が加入する保険を通じて賠償を受けることになります。

当局は、被害者の方からご相談があれば、米側との間に立って調整をするなど、できる限りのお手伝いを行っていますので、お困りのことがありましたら、どのようなことでも結構ですので以下の連絡先にご相談ください。



【連絡先】

近畿中部防衛局管理部業務課

電話 06-6945-4964 / 06-6945-5381（夜間及び休日）



■ ご意見・ご感想等 ■

本誌についての皆様のご意見・ご感想などがありましたら、何でも結構ですのでお聞かせ下さい。皆様方のご意見を参考にさせていただき、より良い誌面作りを目指していきたいと思っております。

（住所）

〒540-0008

大阪市中央区大手前4丁目1-67

近畿中部防衛局

広報編集委員会（報道官気付）

（電話・FAX）

TEL 06-6945-4953

FAX 06-6910-5669

（メールアドレス）

goiken@kinchu.rdb.mod.go.jp

近畿中部防衛局では、防衛省の地方拠点としての役割を果たすため、国民の皆様から防衛行政全般にわたる緊急の連絡、情報提供に対応できる体制を確保しております。

夜間及び休日の緊急連絡先
TEL・FAX 06-6945-5381

KINKI CHUBU

2020年 経ヶ岬通信所だより（通算第63号）

令和2年3月発行

近畿中部防衛局
広報編集委員会

TEL 06-6945-4953

URL <http://www.mod.go.jp/rdb/kinchu/>

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。